

令和 2 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	78
--------	----

担当課	魅力づくり推進課		担当課長	川上 克彦		
事業担当者	砂川 政輝		一次評価者	安部 憲一郎		
事業区分	継続事業		事務事業評価の履歴	有		
事務事業名	空家対策事業					
予算科目	2 款 1 項 10 目					
予算事業名	空家活用事業費					
総合計画での位置づけ(施策名)	自主的な住民活動への支援／多彩な町民交流の拡大					
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	久山町空家等対策協議会設置条例					
事業の対象	町内全域の家屋及びその所有者又は管理者					
事業の目的	全国的に問題となっている空き家の管理について、久山町の実情を把握するとともに該当する物件については、利活用をはじめ適正管理を促すことによって、防災・防犯、衛生、環境等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼさないよう対策を講じる。					
実施期間	開始年度	平成 25 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	町内全域の家屋について、住民基本台帳、固定資産、上水等の保有データから空き家と疑われる空き家を抽出し、現地踏査を行い空き家を絞り込む。空き家判定を受けた家屋については所有者情報を明確にし意向調査を実施する。また関係部署で連携した相談体制を整備する。					
目的達成の指標(成果指標)	管理者不明物件数					
	区分年度	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4年度
	目標	件	0	0	0	0
実績	件	0	0			
指標設定の考え方	空き家管理の問題点は、防犯、防災、環境、景観に悪影響を与えることによって住民の生活が阻害されることであり、空き家の存在が悪いわけではない。適正に管理されていない空き家がなければ、このような問題も発生しないと考えため。					
計画時の懸案事項	空き家を荷物等の保管庫として利用されていることが多い。また空き屋が老朽化していることもあり、売買や賃貸を躊躇している所有者も多い。					
計画時の懸案事項への対応	各課との連絡体制取り、情報共有を行うことで、管理者不明物件を発生させない。また、町内不動産事業者と連携し、売り手、買い手の相談を行い、久山町への移住希望者のニーズに対応していく。					

PLAN(計画)

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 433 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	
事務量	① 人工数	0.16	0.16	0.16	0.16
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,179	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	1,262	1,224	1,148	1,148
事業費	直接事業費	2,760	2,760	1,760	1,760
	人件費	1,262	1,224	1,148	1,148
	合 計	4,022	3,984	2,908	2,908
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	4,022	3,984	2,908	2,908
	合 計	4,022	3,984	2,908	2,908

事業費計画

(千円)

区分/年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
目 標	2,760	2,760	1,760	1,760	1,760
実 績	0	0			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
苦情処理率	%	100	100	100	100
		100	100		
特定空き家発生件数	件		0	0	0
			0	0	0

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 133 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	1 年度決算	2 年度予算	2 年度決算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.16	0.16	0.16	0.16
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,652	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	1,262	1,224	1,224	1,148
事業費	直接事業費	0	2,760	0	1,760
	人件費	1,262	1,224	1,224	1,148
	合 計	1,262	3,984	1,224	2,908
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,262	3,984	1,224	2,908
	合 計	1,262	3,984	1,224	2,908

実施備忘録

CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	砂川 政輝
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ← 小 1 ↓

質問	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？		
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	3	C
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	1	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)	
<input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)	
<input type="checkbox"/> C見直し	
<input type="checkbox"/> D廃止	
<input type="checkbox"/> E完了	

C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

空き家対策は、町内住環境の安全性や、景観維持のため必要であり、空き家は今後増加する事が予想されるため、必要性の高い事業であると考えます。空き家を賃貸や売却資産として捉えている所有者がまだまだ少なく、事業の有効性については課題が残る。今後も空き家を発生させないために、活用事業と並行して空き家バンクの活用が必要であると考えます。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

令和2年度に、適正管理を促した空き家について、解体から土地の売買まで至った案件があった。空き家バンクの登録には至らなかったものの、事業本来の目的は達成できたものと考えている。現在、久山町空き家バンクは登録が無い。今後は所有者に対し、空き家バンクを通じて、空き家を購入したいという希望者が多くいるという情報提供や、提携不動産事業者と協力し、空き家バンクの利活用を選択肢として紹介すると共に引き続き管理されていない危険な空き家の発生を予防することに努める。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	安部 憲一郎
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

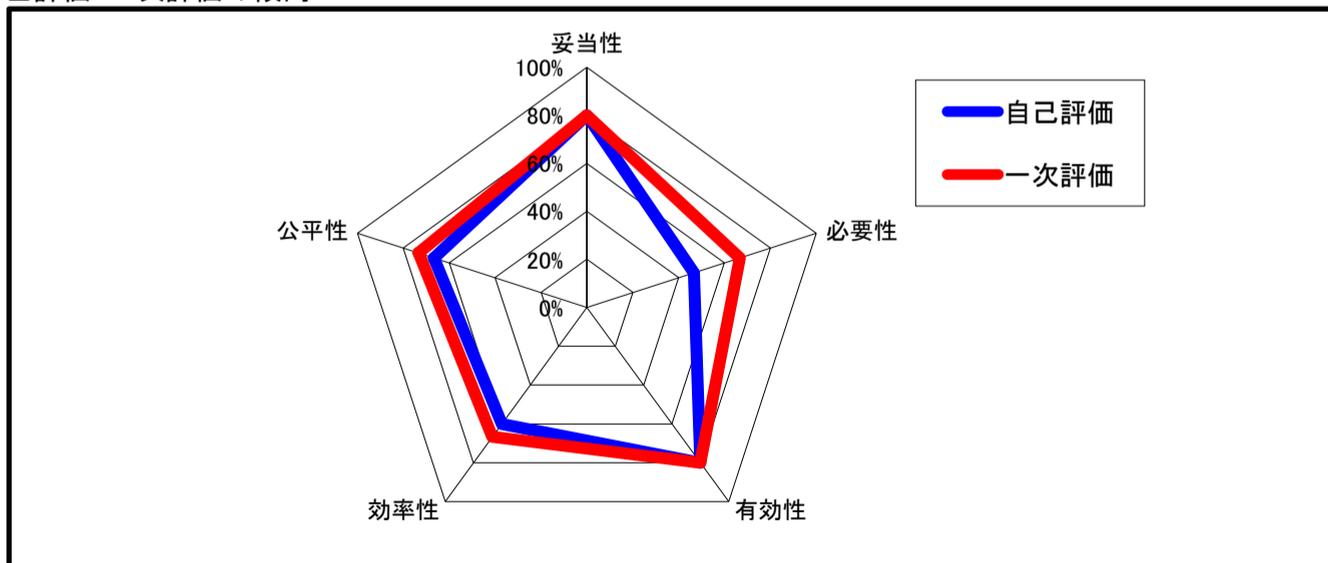
項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？ <input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。 <input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。 <input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 <input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4 4 4 4	B
2. 町が実施する必要があるか？ <input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4 4 2	B
3. 実施内容は適切か？		
①有効性 <input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。 <input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。 <input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4 4 4	B
②効率性 <input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。 <input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3 4 3	B
③公平性・透明性 <input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) <input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。 <input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3 4 4	B

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了		<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

空き家対策は、久山町に限らず全国的な傾向からも今後の必要性・重要性が増してくると考える。空き家バンクについては、現在登録がない状況であるため、今後も空き家所有者に対し、当事業の目的を周知しつつ、所有者にとってのメリットをがあることをしっかりと認知してもらいながら事業を展開する必要があると考える。
また、空き家活用事業についても、制度等について広く周知し活用機会を増やしていくことが必要である。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

川上 克彦

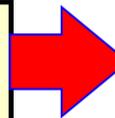
- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

特定空き家の発生を抑制し、地域環境の保全を図る取り組みは、最終的には行政コストの圧縮にもつながるため必要である。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

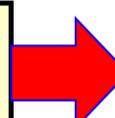
- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。



外部評価委員会
で評価する。
月 日
開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。



一次評価をやり
直し、
月 日
までに提出すること。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

<p>今後の方向性</p> <p style="color: red;">A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの</p> <p><input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)</p> <p><input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)</p> <p><input type="checkbox"/> C見直し</p> <p><input type="checkbox"/> D廃止</p> <p><input type="checkbox"/> E完了</p>	<p>C見直しの具体的内容</p> <p><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</p> <p><input type="checkbox"/> 事業縮小</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
--	---

評価		<p>外部評価委員の意見</p>
----	--	------------------

経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

<p>今後の方向性</p> <p style="color: red;">A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの</p> <p><input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)</p> <p><input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)</p> <p><input type="checkbox"/> C見直し</p> <p><input type="checkbox"/> D廃止</p> <p><input type="checkbox"/> E完了</p>	<p>C見直しの具体的内容</p> <p><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</p> <p><input type="checkbox"/> 事業縮小</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
--	---

評価		<p>経営者会議の結果</p>
----	--	-----------------

令和 4 年度予算要求事項(今後の取り組み)	
------------------------	--